

多職種参加型事例検討会開催のお知らせ

少子高齢化と人口減少に対応する地域包括ケアシステム構築に向け、医療と介護の連携による在宅療養支援が強く求められています。医療と介護の関係者が顔の見える関係の中で事例検討を行い、在宅療養の可能性を広げ、在宅療養者の生活の質の向上を目指します。

1 日 時

平成 28 年 10 月 27 日（木） 18 時 45 分から 20 時 15 分まで

2 場 所

箕輪町地域交流センター

3 内 容

医療依存度の高い在宅療養者の事例 4 つをそれぞれ希望するグループに分かれ、多職種により事例検討を行う。

4 参集範囲

箕輪町の要介護者を対象とする介護保険事業所スタッフ

箕輪町医師会・歯科医師会・薬剤師会 会員の所属する医療機関スタッフ

伊那中央病院・辰野病院スタッフ

地域包括ケアシステム構築のために、介護保険地域支援事業に医療介護連携の推進が位置付けられ、平成 30 年までに全市区町村が取り組むべきとされています。医療・介護関係者の顔の見える関係づくりと、関係者一人ひとりが在宅療養者の在宅療養と生活の質の向上を目指すことを目的として開催します。

添付資料 有 無



～ 箕輪町はセーフコミュニティを推進しています。～

福祉課高齢者福祉係

(課長) 安積真人 (担当) 鈴木道代

電 話 : 0 2 6 5 - 7 9 - 3 1 1 1 (内線) 1 5 6

F A X : 0 2 6 5 - 7 9 - 0 2 3 0

E - mail : fukushi@town.minowa.nagano.jp

第3回 多職種参加型 事例検討会

誰もが住み慣れた地域で、その人らしく暮らすことを支援するために、医療や介護がそれぞれの敷居を超えて、連携することが求められています！

医療も介護も分け隔てなく、専門職としてどのような支援ができるのか、それぞれの役割を確認しましょう！

日時:平成 28 年 10 月 27 日(木) 18:45 から 20:15

◆場所:箕輪町地域交流センター(文化センター南側) ◆参加費:無料

◆申し込み: 申し込み書を下記まで 10 月 3 日までに FAX してください。* 申込は締め切りました

こんなケースの悩みは ありませんか？

今回は具体的な事例を取扱い、
ケースの自立支援、処遇改善を
目指します！

事例1 医療系サービスと介護系サービスの連携

パーキンソン病による ADL 低下と口腔機能低下がみられる妻と、仕事をしながら介護・家事を行う夫の二人暮らしの支援。日中一人の時に OFF 症状で動けなくなってしまう、ADL が低下し、自分でできることがどんどん少なくなってしまうという不安や悩みにどうかかわったら良いのでしょうか。

事例3 病院と在宅支援関係者との連携

狭心症による胸痛と呼吸器疾患により体調を崩しやすく、入退院を繰り返す高齢者を高齢の妻が介護している。

緊急対応の頻度が高いこと、入退院を繰り返していることから、医療機関と介護サービス提供機関はどのように連携をもち、在宅生活を支援したら良いのでしょうか。

事例2 半身麻痺により生活に支障が出ている独居高齢者の ADL・QOL を向上させる支援

自立生活していた高齢者の突然の障がい発生に対し、本人は独居生活を強く希望しています。医療・介護サービスは本人の望む暮らしを実現するためにそれぞれどのように支援できるのでしょうか。

事例4 重度在宅療養者の見守りと医療の確保

重度寝たきりで、多くの医療・介護サービスを必要とする高齢者。家族は『在宅で過ごしたい』という思いを実現させたい思いながらも、先の見えない不安を抱えています。医療機関・介護サービスは本人・家族の思いにどのように寄り添っていけば良いのでしょうか。



連絡・お問い合わせ

箕輪町地域包括支援センター 担当 鈴木道代

電話：70-6622 Fax：70-6699